

農 村 振 興 局 長 賞

1. 地区概要

参加団体名：柳井市土地改良区（山口県）
表彰地区名：大里地区
事業名等：経営体育成基盤整備事業（H14～H19）
主要工事：区画整理工事

2. 推薦理由

当地区は山口県東部、柳井市の北東部に位置し、周囲を山に囲まれた典型的な中山間地で北は玖西盆地、西は熊毛丘陵地帯につながっている。

狭小な耕地において水稻を中心とした自己完結型の小規模兼業農家が多く、地域で営農意向調査を行なった結果、5年後には農業従事者の高齢化、後継者がいない等、農業を続けていける農家の減少や、担い手不足が深刻化することが明確となった。そのためほ場整備の実施にむけた計画段階から、効率的な農業経営を行うため大区画のほ場を整備し、生産組織を担い手にしての集落営農が検討された。生産組織では利用権設定が出来ないなど営農に制限があることから、集落内での法人化を望む声が大きくなり、その結果、平成16年3月に、隣接で実施していた農地等高度利用促進事業の大里南地区も含めた区域を対象に「農地・環境の保全、地域の活性化に繋がる農業」をスローガンに「農事組合法人 あいさいの里」が設立され、平成19年6月には特定農業法人となった。

やまぐち型担い手組織体制として法人（受け手組織）が農用地利用計画の策定を行い、出し手組織において農用地利用計画の調整を図り、水稻品種の団地、水稻以外の作物の団地のブロックローテーションを行い、平成19年度時点において、受益面積26.3haのうち法人が19.6haの農用地利用集積をおこなっている。

特に「あいさいの里」においては、地域農業の担い手として“あいさいの里”は“エコの里”を目標に、化学肥料や農薬の使用量を抑えた「循環型農業」に取り組む、水稻、アスパラガス栽培ではエコファーマーの認定を受け、安心安全な農産物を提供している。

環境にやさしい農業に取り組むと共に、都市農村交流の一環としてアスパラガスの摘み取り体験、毎年10月に「あいさいの里」を中心に「かぼちゃ祭り」を開催し今年度で6回目となっている。またハウス栽培、加工用野菜栽培等により、地域農業の担い手として雇用の場の確保を通じて地域に貢献している。

「楽しい農業」を目指して地域の農地を守って行く中核として「あいさいの里」が存在することは、周辺地域を含めて地域農業の発展に大きな影響を与えている。このような状況の中、現在柳井市や田布施町で調査中である国営ほ場整備事業において、隣接の大原地区、中山地区での営農ビジョンの担い手として「あいさいの里」が位置付けられ、この地域の国営ほ場整備事業の推進に役立っている。

ほ場整備を契機として、「あいさいの里」が設立され、地域農業の雇用が創出されるなど、安心安全な農産物生産の拠点として地域の活性化が大きく図られた。

3. 受益地区における農家及び担い手の状況

(1) 受益地区における農家数の状況

区 分	事業実施前	現 在
総農家数	70 戸 (- 戸)	64 戸 (- 戸)
うち専業農家数	25 戸 (- 戸)	19 戸 (- 戸)
うち兼業農家数	45 戸 (- 戸)	45 戸 (- 戸)
認定農業者	0 人	1 組織
生産組織等(法人含む)	0 組織	1 組織

※ () 内の戸数は、担い手農家数

(2) 農用地の流動化状況

項 目	事業実施前	現 在	目 標
受益面積	30.6 ha	26.3 ha	
担い手等の利用集積面積	3.4 ha	19.6 ha	10.0 ha
①利用権設定面積	3.4 ha	19.1 ha	10.0 ha
②受託面積	ha	0.5 ha	ha

4. 農業経営状況

区分 作物名	事業実施前 (10 a 当たり)			現 在 (10 a 当たり)		
	労働時間	反 収	生産費	労働時間	反 収	生産費
水 稻	55.5 hr	485 kg	162 千円	13.7 hr	365 kg	70 千円
大 豆	26.8	116	58	5.7 hr	158	31

区分 作物名	作 付 面 積 の 推 移		
	事業実施前	現 在	目 標
水 稻	19.0 ha (0 ha)	16.1 ha (12.2 ha)	19.0 ha (6.0 ha)
大 豆	3.0 ha (0 ha)	8.4 ha (8.4 ha)	4.4 ha (3.0 ha)
その他	1.3 ha (0 ha)	3.1 ha (2.2 ha)	2.6 ha (1.0 ha)
小 麦	0.0 ha (0 ha)	0.0 ha (0 ha)	10.0 ha (5.0 ha)
合 計	23.3 ha (0 ha)	27.6 ha (22.8 ha)	36.0 ha (15.0 ha)
土地利用率	76.1 %	104.9 %	136.9 %

※ (ha) は、担い手農家等の作付面積

5. 営農推進の状況

(1) 栽培技術関係

- ・担い手となる「あいさいの里」は平成15年度に農事組合法人を設立し、平成18年度には特定農業法人となっている。
- ・また「あいさいの里」では、転作作物として大豆とローテーションを組んで栽培をしている。地域の余剰労働力を活用して、アスパラガス、広島菜、たまねぎ等園芸作物に取り組んでいる。

(2) 転作関係の状況

①整備後の転作の状況：9.2ha（事業実施前の転作面積4.3ha）

②転作作物名と作付面積

- ・作物名：大豆(8.4ha)、たまねぎ(0.6ha)、アスパラ(0.7ha)、広島菜(0.6ha)、ハス(0.1ha)
- 転作や新規作物の導入にあたって、特にPRすること
- ・効率的な営農をめざし大里地区全体で水稻の品種及び大豆のブロックローテーションを行っている。また、低コスト省力化を図るため50馬力のトラクター「ニプロアッパーローター」の導入により耕起作業と畝たて・播種・施肥作業の2作業を1作業にすることが出来大幅な省力化となった。園芸作物の取り組みにおいて、地域の若い女性を雇用者として活用をしている。

(3) 農産物の加工、流通、販売などに向けた取り組みについて

平成20年度には大里地区の農産物ファンの拡大や将来の農業の担い手を育成する機会として「アスパラガスつみ取り体験」[たまねぎ出荷調整体験]実施した。

水稻については、平成20年9月30日エコやまぐち50の認証を受け、高付加価値を目指している。

国道437号線沿いにある農産物直売所「あいさい市」で、地元で収穫した米や取れたた新鮮な野菜を出荷し、交通のアクセスが良いため遠方からも購買客が訪れ賑っている。

6. 環境に配慮した取り組み

- ・工事施工中は、沈砂地を設置して河川への土砂の流出を防止をした。
- ・農地・水・環境保全向上対策により、代掻きの濁水を排水路へ流さない取り組みを行なっている。
- ・ジャンボたにしの駆除などにも取り組んでいる。

7. その他事業実施の効果による新たな取り組み

農事組合法人設立により、農繁期の農作業及びハウス栽培等について地域内の農家・非農家を含む30代から70代の人々の雇用拡大に繋がった。

閉鎖予定のライスセンターを南すおう農協より「農事組合法人あいさいの里」が業務委託を受けることにより、地域内の農家の雇用が確保された。

8. 行政や関係者が「事業計画、施工、利活用など」において苦勞した点

本事業実施に向けて、不在地主等へ事業説明及び事業参加同意の取得について、地元推進委員を中心に郵便又は直接足を運んでの事業説明及び説得等に大変苦勞をした。

換地計画作成において、担い手への農地集積を達成するため、地元権利者からの要望等を十分に把握し、地元換地委員が中心となって換地計画を進めていった。

法人設立に向けての取り組みにおいて、地元流動化促進協議会と、田布施農林事務所、柳井市、南すおう農協が参加し、月2回程度の会議を開催して法人の事業内容、法人形態、経営試算、農地集積等の検討を重ねた。また、農業経営に精通した経営者としての人材確保及び法人役員の人選に苦慮した。

水稻、大豆については、地域のオペレーターが存在し比較的スムーズであったが、園芸について

は、地域にその品目の事例がなく、経験不足であり、また労力も不足したことから、導入初期は反収が低く苦勞した。

9. 周辺地域への波及効果及び将来の展望

ほ場整備への取り組みを契機として「農事組合法人あいさいの里」が設立され、ほ場整備を行なった農地の7割強を法人組織に集積された。そのことにより大型機械の導入やヘリコプターによる防除作業等効率的な営農が可能となった。

ほ場整備により農地及び農道水路等が整備され、この水路や道路の管理は、中山間直接支払い制度や農地・水・環境保全向上対策などの制度を有効に活用し、非農家を含めた地域全体として共同で取り組みが出来るようになった。

隣接地域の大原地区、中山地区では農地が未整備であり自己完結型の小規模兼業農家が大部分を占めている。農業者の高齢化、後継者不足などの問題を抱える中、ほ場整備事業を契機に地域農業を担う担い手として隣接の大里地区で農業法人が設立された。このことにより、あいさいの里は周辺地域の農業の担い手として位置付けられ、現在この2地区において国営ほ場整備事業実施に向けて調査がなされており、担い手として「あいさいの里」が営農ビジョンの中で計画されている。

「あいさいの里」は、水稻+大豆+園芸品目などモデル的な経営を行なっており、他の法人への波及が大きく期待されている。将来国営ほ場整備完了後は、国道437号沿線で基盤整備が完成し「あいさいの里」が中心となり他産地に負けない品質の良いものを生産するため、地力を高め化学肥料に頼らない有機物循環農法や減農薬栽培により、消費者ニーズに応えるために、美味しく安全安心な付加価値の高い農産物生産を行なっていく。



施工前



施工後

◆あいさいの里 活動事例



田植え風景



大型コンバイン導入



大豆の播種風景



大豆収穫作業



広島菜の収穫作業



たまねぎの収穫作業



アスパラガス栽培ハウス



アスパラガスつかみ取り体験



「あいさいの里でつくったお米」



あいさい市